

3			2			1		
①	ウ	②	①	ウ	②	①	エ	②
エ			ア			ア	③	
						イ	④	
						ウ		

「かいせつ」

1 (一) () の後にいろいろな例があげられているので「たとえば」が入ります。

(2) () の前のことが後ろのことの理由りゆうになっているので () には「だから」が入ります。

(3) () の前のことと後ろのことが反対はんたいの内ようになっているので「けれど」が入ります。

(4) さいしょに、という意味いみの言葉がくるので () には「はじめに」が入ります。

2 (一) () の前のことと後ろのことが反対の内ようになっているので、() には「けれども」が入ります。

(2) () のあとにいろいろな例があげられているので「たとえば」が入ります。

3 (一) () の前のことが後ろのことの理由になっているので「だから」が入ります。

(2) () の前のことと後ろのことが反対の内ようになっているので、() には「けれども」が入ります。

3	2	1
①	①	①
ア	ウ	ウ
②	②	②
イ	イ	イ
		③
		エ
		④
		ア

「かいせつ」

1 (一) (一)の前のことと後ろのことが反対の内ようになっ
ているので「それなのに」が入ります。

(2) (一)の前のことが後ろのことの理由になっ
て、(一)には「だから」が入ります。

(3) (一)の前のことがもとなり、(一)の後ろのことに
つづくので「さあ」という意味の「では」が入ります。

(4) りくでも水の中でも「どちらでも」という意味なので
「また」が入ります。

2 (一) (一)の前のことがあって、そうすると(一)の後のよ
うになった、というつながり方なので、(一)には「す
ると」が入ります。

(2) 外に出たらさぶぬれになってしまうから「それでは」
どうしたらよいだろう、というつながり方をしている
ので「では」が入ります。

3 (一) (一)の前のことと後ろのことがくいちがっているの
で「けれども」が入ります。

(2) (一)の前のことと後ろのことが反対の内ようになっ
ているので、(一)には「それなのに」が入ります。



3	2	1
①	①	①
エ	ア	イ
②	②	②
ア	エ	ウ
		③
		ア
		④
		エ

「かいせつ」

1 (一) () の前のことと後ろのことが反対の内ようになっ
ているので「けれど」が入ります。

(二) さいしよに、という意味の言葉がくるので () には
「はじめに」が入ります。

(三) () の前のことが後ろのことの理由になっているの
で () には「だから」が入ります。

(四) () の後にいろいろないがあるから「た
とえば」が入ります。

2 (一) () の前のことが理由になって後ろのことが書いて
あるので「だから」が入ります。

(二) () の前のことと後ろのことが反対の内ようになっ
ているので、() には「けれども」が入ります。

3 (一) () の前のことと後ろのことが反対の内ようになっ
ているので、() には「けれども」が入ります。

(二) () の後にいろいろないがあるから「た
とえば」が入ります。



3	2	1
①	①	①
ア	ウ	ウ
②	②	②
エ	エ	ア
		③
		イ
		④
		エ

「かいせつ」

1 (一) () の前のことが後ろのことの理由^{りゆう}になっているので、() には「だから」が入ります。

(2) () の前のことと後ろのことが反対^{はんたい}の内ようになっているので「それなのに」が入ります。

(3) りくでも水の中でも「どちらでも」という意味^{いみ}なので「また」が入ります。

(4) () の前のことがもとになり、() の後ろのことにつづくので「さあ」といういみの「では」が入ります。

2 (一) () の前のことと後ろのことがくいちがっているの
で「けれども」が入ります。

(2) () の前のことと後ろのことが反対の内ようになっ
ているので、() には「それなのに」が入ります。

3 (一) () の前のことがあって、「そうすると」() の後の
ようになった、というつながり方なので、() には「す
ると」が入ります。

(2) 外に出たらずぶぬれになってしまうから「それでは」
どうしたらよいだろう、というつながり方をしている
ので「では」が入ります。



3	2	1
①	①	①
エ	エ	エ
②	②	②
イ	ウ	ア
	③	③
	ア	イ
		④
		ウ

「解説」

1 (一) (一)の前のことが後ろのことの理由りゆうになっているので、(一)には「だから」が入ります。

(2) (一)の前のことと後ろのことが反対の内ようはんたいになっているので「それなのに」が入ります。

(3) 風にくわえて雨もという意味いみなので「さらに」が入ります。

(4) (一)の前のことから少し時間がたって(一)の後ろのことにつづくので「やがて」が入ります。

2 (一) (一)の前のことにつけくわえて後ろのことがあげられているので「そのうえ」が入ります。

(2) (一)の前のことと後ろのことが反対の内ようになっているので、(一)には「ところが」が入ります。

(3) (一)の前のことが理由になって後ろのことにつながるので、(一)には「だから」が入ります。

3 (一) (一)の前のことが後ろのことの理由になっているので(一)には「そこで」が入ります。

(2) (一)の前のことから少し時間がたって(一)の後ろのことにつづくので「やがて」が入ります。



3	2	1
①	①	①
ウ	ウ	イ
②	②	②
エ	ア	ウ
③		③
イ		エ
		④
		ア

「解説」

1 (一) (一)の前のことから少し時間がたって(二)の後ろのことに つづくので「やがて」が入ります。

(2) (一)の前のことと後ろのことが反対の内ようになっ ているので「それなのに」が入ります。

(3) (一)の前のことが後ろのことの理由になっ ているので、(二)には「だから」が入ります。

(4) 風にくわえて雨もという意味なので「さらに」が入 ります。

2 (一) (一)の前のことが後ろのことの理由になっ ているので、(二)には「そこで」が入ります。

(2) (一)の前のことから少し時間がたって(二)の後ろの ことに つづくので「やがて」が入ります。

3 (一) (一)の前のことに つけくわえて後ろのことがあげら れているので「そのうえ」が入ります。

(2) (一)の前のことと後ろのことが反対の内ようになっ ているので、(二)には「ところが」が入ります。

(3) (一)の前のことが理由になっ て後ろのことに つなが るので、(二)には「だから」が入ります。